

# ももハウス便り

発行年月 2020年9月8日(火)

発行所 NPO法人岡山聴覚障害者支援センター

〒702-8057 岡山市南区築港新町1-15-16

## ももハウスへ元気に集まろう！

今年の夏は「<sup>ころなか</sup>コロナ禍」と<sup>もうしょ</sup>猛暑・<sup>こくしょ</sup>酷暑が続き、  
これまで経験をしたことのない夏でした。  
ももハウスは新型コロナウイルス感染予防のために、3月～6月まで休止しました。

7月から再開しましたが、三密(密集、密閉、密接)を避けるため、きらめきプラザでの開催を中止し、ももハウスで行いました。参加者はマスクを着用し、一日に2回の検温、手洗い、消毒、換気。スタッフはフェイスシールドを着用して、感染予防に最新の注意を払いながら交流の場を提供しています。

みなさんがお話しに夢中になると、近距離になったり、表情や口の動きが見えないことからマスクを外すこともおきます。そのたびに、「マスク！ マスク！」と声をかけあっています。

また水分をしっかりと取りながら、熱中症予防にもしっかりと配慮しています。



参加者から「自粛(じしゅく)期間は手話でおしゃべりができなくて、しんどかった。」「おしゃべりや体操、ゲームなどをみんなと一緒に楽しく過ごせることがとてもうれしい！」…などの声がありました。

これからも、ももハウスへ元気に集まり「三密(さんみつ)」に注意しながらコロナに打ち勝っていきましょう。(土屋 教子)

※「コロナ禍(コロナか)」とは？ 意味。

⇒ 新型コロナウイルス感染の流行による  
災難や危機的状況をいう言葉のひとつ。  
2020年3月半ばより新聞報道やインターネットの記事などで使われるようになった用語。

## = インタビューをしました! =

新型コロナウイルスの感染拡大により外出や買い物、友人との食事などあらゆる行動や趣味・娯楽が制限され自粛してきました。

そこで、ももはハウスがお休みしていた時のお話しをお二人の方にお聞きました。

### ♡ 裏辻 節子 さん

(質問1)「コロナで自粛(じしゅく)生活の様子を教えてください？」

「毎日、三食の食事をきちんと食べるよう、できるだけ栄養を考えながら工夫をしていました。家の中を掃除したりパッチワークや刺し子を楽しんでいました。」

主人はお皿洗いを手伝ったり、庭のガーデニングを楽しんでいました。」



(質問2)「マスクをつけて外出先でのコミュニケーションに困っていませんか？」

「外出は買い物ぐらいです。いつも決まったスーパーで買い物をして、顔見知りの店員さんがいるので困ることはないです。私のことを知ってくださっているのが安心です。」

\*裏辻さんは、手芸部やももハウスの活動後の掃除のお手伝いに来て下さっています。

### ♡ 御船 高代 さん

(質問1)「コロナで自粛(じしゅく)生活の様子を教えてください？」

「仕事があり、お家で過ごすことはありませんでした。コロナの影響でホテルの清掃の仕事は少し暇になっていました。もう一つの仕事は、今皆さんがよく見かける透明のマウスシールド

を作っています。こちらは忙しく、そしてとても大変な作業で難しいです。」

「同じ聴覚障害を持つ仲間は、忙しく大変な作業なため嫌がっているそうです。

しかし私は一生懸命に頑張っています。」

(質問2)「夏バテ防止、元気の秘訣(ひけつ)を教えてください?」



「何でも好き嫌いなく食べることですね!。」

そして規則ただしく、きちんと寝る。夜は10時に寝て、朝は7時に起きて、規則正しく過ごしています。

いつも水筒を持って水分補給に気を付けています。」

\*久しぶりに、ももハウスへ参加した御船さん。「今日はどうでしたか?」の質問に「楽しかった!」と満面の笑顔で応えられました。(中塚 志保)

## ≡ 活動の紹介 ≡

(1) 7月10日 「玉入れ」と「書道教室」

午前は「玉入れ」を行いました。入れた玉のかずだけ競い合いました。ワンバウンドで入れられる人や、勢いあまりカゴからボールが跳ね出て人も続出! 楽しく笑いながら行いました。

午後は、書道の先生に来ていただき、習字を習いました。みなさん真剣に行いました。



(2) 8月28日 「はがき作り」(残暑見舞い用)

いつもお世話になっている方に、残暑見舞いを届けようと、手作りではがきを作りお便りを書きました。メールやファクスで簡単に連絡が取れますが、たまには、はがきを出すこともいいですね。!(^)!」

心を込めた残暑お見舞いのはがきを作って息子へ、娘へ、旦那様へ、またデイサービスのスタッフさんへ書いて届けました。

準備段階から喜んでいただけるか? 不安でしたがみなさんととても喜ばれスタッフと共に楽しめた一日になりました。(中塚 志保)



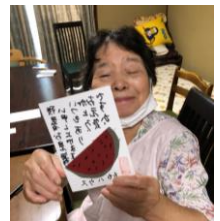
お気持ちを届けましょう♪



よいのができました!



スイカを色紙で作りました



ステキでしょう♪

(2) 「紅白幕づくり」 (式典用)

手芸班では敬老を祝う会に向けて「紅白幕」を作成しました。8月から始め、お盆明けよりしつけをして縫いました。寄贈された15mのさらし布に、赤い布地を一枚一枚縫い付けていきました。敬老会でお祝いされる人たちの笑顔を思い浮かべながらひと針ひと針、心を込めて縫いました。(藤森 政子・妹尾 満寿子)



# ＝ 敬老を祝う会 ＝

## ももハウス 『敬老を祝う会』

9月1日(火)と4日(金)に、ももハウスでは「敬老を祝う会」を開催しました。例年きらめきプラザでの開催が、今年はコロナの関係で2回に分けて行いました。料理担当の腕前が発揮された美味しい「お祝い御前」をいただき、午後からお祝い会を行いました。

会員で参加されている75歳以上の方々へは「紅白饅頭」をお贈りいたしました。

そして、90歳を超えられた長尾信恭さん(96歳)と奥さまの須賀子さん(94歳)に、ささやかですが表彰状と長寿のお祝い品をお贈りしました。

余興は、大江朝美さんの寸劇「一寸法師」。お椀の船が波にのまれそうな演技、表現はさすがでした！ スタッフは大江さんの手話にすっかり見とれていました。

その後は戦争体験や戦後の暮らし、聾学校の話や当時の先生の話など次から次へと話題が出て盛り上がりました。話し合う皆さんの顔が、とてもイキイキと輝いていました。

参加した児島瑞枝さんは「コロナ禍で人と話すことが少なく、いっぱいお喋りができてスッキリした！」と感想を話されていました。

ろうスタッフが進行役をすると、こんなにも生き生きとした会になる事を再確認しました。大江さん、次回もよろしくお願ひします。



大江さんの見事な寸劇に感動！

### 90歳以上で表彰された方

- \*長尾 信恭さん 96歳 (大正13年生まれ)
- \*長尾 須賀子さん 94歳 (大正15年生まれ)
- \*磯部 豊茂さん 92歳 (昭和2年生まれ)

おめでとうございませう！！



長尾信恭さんと奥さまの須賀子さん



9月1日 みなさんで記念撮影♪

9月4日(火)は、玉野市から通われている磯部豊茂さん(92歳)が表彰されました。磯部さんより、「これまで来られたのは聞こえる人に負けぬよう一生懸命働いて、二人の子どもを大きく育てあげた」の苦勞話をお聴きしました。また、75歳以上の方々には、最近の様子や元気の秘訣(ひけつ)、ももハウスへの想いや期待を語ってもらいました。

なかでも裏辻節子さんは、ももハウス開所当時、藤森政子さんや佐藤佳代子さんと一緒にホームヘルパー2級の資格を苦勞して取得した話や、ももハウスに集うことで色々な学びができた喜び。そしてこれからも、ももハウスが続いていくことを強く願っておられました。余興では、裏辻哲也さんがお札を使った手品を披露した後、昔話の物語を演技・表現し、それをみんなで当ててもらいました。



磯部豊茂さん、おめでとうございませう！



9月4日 みなさんで記念撮影♪

＝ 繰り返してはいけない! ＝

＝ お便りの紹介 ＝

## ろう者の戦争体験

6月29日 岡山空襲の日 8月15日 終戦記念日

戦後75年。戦争体験を語れるろう者が少なくなっています。8月15日の終戦日にちなんで2003年7月に収録した「ろう者の戦争体験DVD」をみなさんで観ました。

岡山空襲を経験された方が何人もおられました。空襲の時、何が起こったかわからないまま母親や兄弟に手を引かれて防空壕に逃げ込んだ…。市内中が焼けてしまい天満屋だけ残っていた…など、聞こえない立場の戦争体験を語られました。



残念ながらDVDの中で話されていた方々は、亡くなられており、今は空襲を語れる方が少なくなっています。

ももハウスに元気で通われている長尾信恭さんは96歳。戦時中は22歳の若さでした。「聞こえないために兵隊に行けませんでした。妹尾（南区の）にあった軍事工場で、金属加工の仕事に働いていた」と話されていました。

また94歳の奥さまの須賀子さんは、田舎で暮らしていたため、「岡山空襲のことは分かりませんでした。おうちがお百姓をしていたので、食べ物には困らなかったです」…などと、お二人は75年前の記憶をたどりながら、当時のお話をしていただきました。

私は戦争を知らない世代です。令和の時代になり、これからも戦争の悲惨さを語りついでいきたいと思っています。（土屋 教子）



戦時中のお話をされた長尾さんご夫妻

ももハウスに届いた家族の方からのおたよりをご紹介します。

いつもお世話になっております。

私たち家族は、休みになると色々なところに遊びに行き、美味しいものを食べることを楽しみにしています。

新型コロナの影響で今年に行くことができず、残念に思っています。（県内の）蒜山や牛窓にドライブに出かけています。

母は3年程前に腰の手術をしてから要介護2の認定となり、週2回デイサービス、週1回ももハウスに通っています。デイサービスのスタッフの方は、少しの

手話ができたり紙に書いてコミュニケーション（筆談）はとれるようですが、ももハウスでは顔なじみの方と手話で会話できることがとても楽しいようです。

（ももハウスの）スタッフの方のたいへんさはよくわかりますが、これからも手話で会話できる場所があると

ことはとても大切だと思います。これからもよろしくお願いします。



小坂 千津子の娘より

### 【編集後記】

沖縄から九州地域に大きな被害をもたらした台風10号。最近は大変な災害になることが多いです。9月は防災月間です！

みなさん日頃の備えは、大丈夫ですか！？先日の台風10号で、気象庁の会見に手話通訳が大きく写し出されていました。

字幕だけではなく、手話通訳を通して情報が得られることは、手話を言語とする方々にとって、より安心なことです。

新型コロナ感染に関する各県の知事会見にも手話通訳が全県で付いています。

「手話が当たり前の社会」になり、「手話でコミュニケーションがとりやすい社会」になることを願っています。（土屋 教子）